


全国港湾 Fax 通信

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾24FAX第89号
(宛先)	2025年4月15日
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局 

(件名)

25港湾春闘情報 (5)

(本文)

1. 第3回中央港湾団交の決裂に伴い、公文第92号(3月25日付)で指示した3月30日(日)の全港・全職種のスライキ行動を実施した。その後、折衝を行ってきたものの、25春闘産別交渉、並びに、「魅力ある港湾労働の確立」のための賃上げ交渉でも見るべき前進がなかった。
2. こうした状況について検討した第4回合同中央闘争委員会(第11回中執)は、事態の打開と交渉の促進を図るため、4月13日(日)の24Hスライキ行動を通告し、決行した。
3. 4月15日、13時30分より国土交通省記者会に於いて、記者会見を行い「25港湾春闘 スライキ行動の実施と背景について」を訴えた。会見に応じたマスコミ関係は、18人、行政関係は4人であった。
4. 各地区からの報告書にある特徴的な点を報告いたします。
(4月15日集計、報告地区15地区中15地区)
 - (1) 各地区ともパトロール隊を配置して、港全体のパトロールを実施し、問題なかったと報告が来ている。
 - (2) 北海道港湾は、内航RORO船、14日(月)の早出荷役を1隻阻止した。
 - (3) 東北地区港湾は、各5地区でパトロールを実施した。小名浜港では約200名の参加で全体集会を行った。全体では、RO/RO船の就労拒否を7隻、コンテナ船1隻、車両船1隻の就労拒否をした。
 - (4) 日本海地区港湾は、13日(日)のコンテナ船3隻、チップ船2隻の就労拒否を行い、14日(月)のコンテナ船2隻、ばら積み本船7隻の早出荷役の就労拒否を行った。
 - (5) 東京港湾は、港頭地域のパトロールを実施、作業は行われておらず、スト破り行為はなかった。ヤード内の路面補修を二ヶ所行っていた。
 - (6) 川港労協は、2班に分かれて13日と14日早朝にパトロールを実施し、問題なかった。
 - (7) 全横浜港湾は、スライキ行動のアピール集会を行い、今回もマスコミの取材を受けて新聞の四面に写真付きで24時間スライキの記事が掲載された。その後、4班体制で港内のパトロールを実施。作業は行われておらず、スト破り行為なし。
 - (8) 駿河港湾は、早朝の集会を実施し、その後2班体制でパトロールを実施した。

コンテナ船4隻の就労拒否を行った。

- (9) 名港労協は、港頭地域のパトロールを実施。また、ウェブカメラにて定期的にロケインして確認作業を行った。プライベートバースで6隻のRORO船が作業を行った。
- (10) 大港労協は、前回と同様、4班体制27名でパトロールを実施。パトロール終了後、大港労協の事務所で小嶋議長より、中央における状況と第三次行動についての報告を行い、意思統一を行った。万博開幕日により、会場周辺（夢洲、北港、南港、咲洲の一部）の交通規制及び渋滞等により、パトロールが困難な状況にあった。
- (11) 神戸港湾は、パトロールを行う前に意思統一を図った。その後、4班に分かれて実施。作業は行われておらず、スト破り行為なし。
- (12) 四国港湾は、三島川之江港でチップの本船荷役が行われていた。新居浜港では、プライベートバースにおいて石炭荷役が行われたが、除外申請を受け入れた。
- (13) 関門港湾は、パトロール前に意思統一を行い、その際、城井衆議院議員が激励にきて25春闘の状況説明と港湾の課題について意見交換を行った。特に問題はなかった。
- (14) 博多港湾は、組合事務所に集合し、意思統一を図った。その後、2班に分かれてパトロールを実施。終了後は、報告集会を行った。スト破り行為はなし。
- (15) 鹿児島港湾は、パトロール行動前に行動内容を確認して2班体制で実施。作業は行われておらず、スト破り行為なし。各単組ではスト行動前に集会を行った。

3. 以上の行動によって、第二次行動も大きな混乱なく成功裏にストライキを打ち抜くことができた。また、全地区の報告、有難うございました。

各地区の奮闘に感謝しつつ、第二次行動でも中央・地区一体でがんばりましょう！

以上



日本海地区港湾（新潟）